

技術名称：レキファルトスーパー

申請者名：ニチレキ株式会社中国支店

技術部門（主）：長寿命化部門

登録  
区分

区分3：活用促進技術

区分2：試行段階技術

区分1：開発・改良支援技術

■技術概要・ポイント（写真・図面等を適宜貼付）

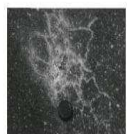
申請技術は、橋面舗装に使用する剥離抵抗性や施工性に優れたポリマー改質アスファルトである。従来技術は、初期転圧時の温度範囲が狭く、過酷な条件下では施工が難しかった。申請技術は、初期転圧の温度範囲が下限方向に広い。そのため、冬場の夜間施工のような過酷な条件下でも、時間に追われずに転圧作業を進められる。また、締固め不足に起因する透水が抑えられるため、ポットホールが発生しにくい。

＜新技術＞



はく離・わだち・ポットホールなどの損傷なし

＜従来技術＞



①はく離



②わだち掘れ



③ポットホール

■公共事業における施工・活用方法

施工手順は、従来技術と同様。

- ①舗装準備
- ②タックコート（必要な場合）
- ③舗設作業
- ④交通開放

■適用条件等（自然条件・現場条件等の活用上の留意点）

適用事業

- 1. 道路
- 2. 河川
- 3. ダム
- 4. 砂防
- 5. 港湾
- 6. 海岸
- 7. 下水道
- 8. 公園
- 9. その他
- 10. 全般

橋面舗装は、従来のポリマー改質アスファルトⅡ型を使用したアスファルト混合物の場合、温度低下が早く、締固め不足や転圧作業の時間に追われて作業をすることが多かった。申請技術では、温度範囲が下限方向に広い。そのため、締固め不足が起きにくく、時間に追われずに転圧作業を進められる。また、当該技術は冬場施工のような過酷な現場状況でも適用が可能である。特に効果の高い適用箇所は、寒冷期の橋面舗装の施工など、締固め不足の発生するリスクが高い場合である。

申請技術製品は、高温で長時間貯蔵すると熱劣化を生じるため、180℃以下で貯蔵し、一週間程度を目安に使い切る。

また、鋼床版橋では適用できない。



■技術の成立性

申請技術のバイнда性状は、従来技術のバイнда性状と同等である。また、申請技術を使用したアスファルト混合物は、従来技術を使用したアスファルト混合物と同等の動的安定度（DS）が得られ、高い流動抵抗性がある。また、剥離抵抗性も向上する。

開発

- 1. 単独
- 2. 共同研究（民民）
- 3. 共同研究（官民）
- 4. 共同研究（民学）

体制等

開発会社：ニチレキ株式会社

販売会社：ニチレキ株式会社

協会：

技術部門（副）（副次的効果）

部門

技術名称：レキファルトスーパー

申請者名：ニチレキ株式会社中国支店

■活用の効果（技術部門（主部門）のアピールポイント）

※従来技術名（ポリマー改質アスファルトⅡ型）

項目	活用の効果			発現する効果	
				申請技術	従来技術
経済性	向上 (26%)	同程度	低下 (%)	特殊改質アスファルトを使用したアスファルト混合物となるので、従来技術と比較して材料費は高価となるが、ライフサイクルコストは経済的となる。	従来技術は、一般的な改質Ⅱ型を使用しているため、申請技術と比較して材料費は安価となる。
工程	短縮 (%)	同程度	増加 (%)	従来技術と同程度である。	申請技術と同程度である。
品質・出来形	向上	同程度	低下	品質は従来技術よりも、流動性・剥離抵抗性が向上する。	申請技術と比較して、流動性・剥離抵抗性が劣る。
安全性	向上	同程度	低下	従来技術と同程度である。	申請技術と同程度である。
施工性	向上	同程度	低下	冬期や夜間などの条件下でも、混合物の初期転圧温度範囲が広いこと、時間にとらわれずに施工できる。	混合物の初期転圧温度範囲が狭いため、冬場や夜間などの条件下では、時間にとらわれて施工しないといけない。
環境	向上	同程度	低下	従来技術と同程度である。	申請技術と同程度である。
維持管理性	向上	同程度	低下	混合物の耐久性が高いため、次回補修までの期間が長く、維持管理性は高い。	申請技術より混合物の耐久性が劣るため、次回補修までの期間が短い。
その他	向上	同程度	低下	該当なし	該当なし

技術名称：レキファルトスーパー

申請者名：ニチレキ株式会社中国支店

■活用実績

発注者	県内件数	県外件数
広島県	6 件	—
その他公共機関	7 件	1,372 件
民間等	0 件	33 件

発注者	年度	公共工事名(事業名)
東広島市役所	H31	志和インター線 橋梁維持
東広島市役所	H30	平成29年度 橋梁長期保全事業 八本松大橋、八本松小橋橋梁補修工事
広島県	H29	一般国道432号 道路災害防除(橋梁補修)工事
広島県道路公社	H28	広島熊野道路 絵下谷橋 橋梁維持修繕工事
広島県道路公社	H28	広島熊野道路橋梁補修・舗装道補修工事

■国土交通省(NETIS)への登録状況

申請地方整備局名	登録年月日	登録番号	評価(事前・事後)

■建設技術審査証明の発行状況

発注機関名	証明書発行年月日	証明書番号

■国及び都道府県等による技術的審査を受けている状況

なし
----

■知的財産等

特許・実用新案	番号
特許	1. あり 2. 出願中 3. 出願予定 4. なし
実用新案	1. あり 2. 出願中 3. 出願予定 4. なし

■当該技術の課題と今後の改良予定

【課題】 コストダウン
----------------